

## 会議概要（速報）

件名	令和2年度 第2回新潟市食育推進会議	
日時	令和2年12月24日（木）午後2時～4時	
場所	食育・花育センター2階 講座室	
出席者	委員	伊佐委員、猪俣委員、佐藤委員、真保委員、長谷川委員、馬場委員、宮川委員、村井委員、村山委員、和須津委員 (欠席：阿部委員、葛見委員)
	事務局	【食と花の推進課】坂井課長、岸本課長補佐、佐藤係長、春川副主査、酒井副主査、岩城栄養士
	関係課等	保育課、保健所健康増進課、保健所食の安全推進課、保健給食課、農林政策課、食育・花育センター
概要	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 国「第4次食育推進基本計画」について【資料1・2】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度より開始となる国の次期計画について基本的考え方および骨子案を説明。生涯を通じた健康や持続可能な食を支える食育を推進するため、新たな目標値が追加となった。</li> <li>・今後も国の方向性を鑑みつつ、新潟市の実情、特長に合わせた計画策定を進めていきたい。</li> </ul> <p>(2) 第4次新潟市食育推進計画策定スケジュール【資料3】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後のスケジュールについて再度確認。</li> <li>・次回の会議では計画素案や市民アンケート項目、数値指標等の案について提示予定。</li> <li>・次期計画数値把握のためのアンケートについて、対象の実態がわかるよう、対象や実施方法について今後検討。</li> </ul> <p>(3) 次期計画方針について【資料4～7】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次期計画の骨子構成案について提示。</li> <li>・次期計画の方向性について、食への関心が低く、課題が多く残っており、かつこれから親になっていく世代を主なターゲットとして捉え、「食を楽しむ」をキーワードとし、食への関心につなげる。</li> <li>・第3次計画の数値指標把握方法について、該当調査の結果概要および調査票を提示し、説明。</li> </ul>	

**【主なご意見・質問等】**

- ・朝食の摂取は睡眠時間とも関係している。今後の調査では、食べているかいないだけでなく、生活習慣、朝食の内容、食べない理由等、原因を把握できるよう、細分化した質問を検討してほしい。
- ・全体に対する影響力を考え、対象は年代で設定するのではなく「子どもがいる人」等、属性で設定してはどうか。
- ・学生は食事をファストフードで済ませる人も多く、食べることの重要性を知らない。自身のメリットにつながることをわかりやすく伝え、難しく考えすぎないことが大切。
- ・調査のターゲットだけでなく、どう調べるかも重要。フードバンクへの食料支援が増えているので、フードバンクやこども食堂は情報を得る窓口になる。
- ・コロナ禍により家庭で食事を作る機会が増え、食材の売り上げが増加している傾向がみられる。食材の産地である新潟のものをいかにおいしく健康に食べるか。新潟のものを使った食育を進める。
- ・若い保護者は食に興味があり、情報量も多いが、実践にうつせない。一步が踏み出せないのでは。
- ・同じ内容のアンケートでも「1人暮らしの学生」「家族」など対象を分け、web回答も取り入れながら、対象の食べ方の実態がわかるように調査をする。
- ・複数の家族を設定し、インタビュー形式等で入り込んで調査し、原因の仮説をたててから解決策を検討した方がよいのではないか。

3 連絡事項

4 閉会

傍 聴	2人
報 道	なし